

(様式2(1))

事業所名 グループホームこすもす倶楽部なばの

作成日: 令和 7 年 3 月 4 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議において、現在家族と利用者本人の参加が出来ていない。2年前までは家族は参加されていたがそれ以降、家族へ依頼ができていない。	感染状況を勘案しながら、家族と利用者本人に参加していただく。	家族が置かれている状況等考えて、会議の趣旨を説明し参加の依頼をする。利用者本人には、短時間でも参加していただけるよう言葉かけをする。	12ヶ月
2	26	ケアプランの見直し(6ヶ月毎、介護保険更新時、状態変化時)の際に、職員以外の関係者の意見が聞けていない。サービス実施状況は詳細には記載できていない。	プラン見直し時期には関係者の意見を聞き、計画書に沿ってサービス実施状況を詳細に記載する。	週1回訪問の看護師の意見を聞き、意見が出されたら、サービス担当者会議の議事録に記録する。システム導入のサービス実施状況は計画書に沿って詳細に「支援経過記録」に記録をしていく。	12ヶ月
3	23	入居時には本人のバックグラウンドシート(生活歴、嗜好、暮らしの希望)を作成しているも、入居後の情報の追記ができていない。	把握できた事を追記して情報を蓄積し、個別支援に活用する。入職した職員にも分かる情報にする。	気付いたこと、新たに把握できたことは日付けと共に本人のバックグラウンドシートに追記し、職員間で情報を共有する。	12ヶ月
4	6	身体拘束適正化委員会は毎月ユニット会議内で開催し議事録に残せているも、リーダー会議内での身体拘束適正化委員会は開催するも、研修はしても、ユニット会議内での内容を共有検討できていなかった。	毎月のユニット会議内での適正化委員会での結果を3ヶ月毎のリーダー会議内の適正化委員会にて共有、検討する。	毎月のユニット会議内での身体拘束適正化委員会の開催結果はユニット会議議事録に記入し、リーダー会議内での身体拘束適正化委員会にて毎月の検討結果を共有、検討した結果を議事録に残す。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。